たちばな
橘さんは
か
嗅ぐわしい
②
【単行本版】
Presented By
肉丸

contents

第6話　003

第7話　039

第8話　071

第9話　101

第10話　137

第6話
とぼ
とぼ
はぁ…
あの日から
※あの日
はや一週間か…
あの日以来、私は
ボケー
だばー
薫ー!!
色々と酷いありさまに…
橘~~!!

それにあの日以来
藤村君のことを
考えると
なんか胸が
モヤモヤする…
モヤ…
そのせいで特訓も
全然進んでないし…
ずーーーん
おーい薫!
はい?
クルッ
今ちょっと
時間いいか?
よっ
先生!

体育教官室
恐怖症の克服は中々順調みたいだな
ええ、確かにそうですが…
何故わかったんですか?
ギィッ
そりゃわかるさ

お前さっき廊下を歩いてきたろ
ええ…
カパッ
その間普通に男もいたの気づいてたか?
あ、そういえば
つまりそれだけ男に免疫がついたってことだ
それもこの短期間で…

すごいことじゃないか
のめ
ポイッ
正直驚いたぞ
ありがとっございますっ
そうか…色々あって気付かなかったがそんなにも改善してたんだな…
だが
その割には浮かない表情をしてるな
ピクッ
キュポッ
ふぅ…先生は何でもお見通しですね
実は

最近ずっと胸がもやもやしてるんです…
!
病院にも行ったんですが
特に体の異常は無いと
正直八方塞がりで…
…
何となく原因の想像はつくがな
本当ですか!?
トン

考えてもみろ
何年も治らなかったものがここ数週間で急激に改善してるんだぞ？
そりゃストレスで何らかの異常が出てもおかしくないだろ
確かに…
まあこれは私のせいとも言えるな…
せめてもの詫びに…えーと…
これ持ってけ
これは？

私が愛用してるアロマだ
使えば多少はストレスの軽減が期待できる
ありがとうございます！
ていうか…
先生がアロマなんてお洒落な物をお持ちとはちょっと意外…
あ゛？
いえ！何でもないです！
もう今日は早退していいから帰って休め!!
あ、家でしっかり体ほぐしとけよ！
は、はーい

まったく…
あいつあんなキャラだったか？
何かちょっとハカになってるような…
ん？
コツ
なんか足に――
アロマ
あ、ヤバ
てきたら使おうとしてたヤツあげちゃった…

アロマかぁ・・・
キュッ
そういえば初めて使うなぁ
どれどれ・・・
ほぅ・・・

これ…いいなぁ！
何か胸がスッと楽になった気がする！
少し体がムズムズするけど
これを嗅ぎながらなら
藤村君とも普通に…
…まあ無理だよね
香水類禁止だし
バカ言ってないで先生に言われた通り体ほぐして寝よ…
…ん？
ほぐす…
ほぐす…
マッサージ？

マッサージという体なら
お礼もできるし
こっ
これだ！
自然にアロマを焚いて
落ち着いて話せる！
そうと決まれば
早速・・・
カタ
えーと
カタ
カタ
これでよし！
Goggles
男性　マッサージ　喜ぶ
検索
カチッ

はあ…
あれから…
一週間か…
先輩からの音沙汰も無いし…
コッ
こっちからコンタクト取った方がいいのかな…
コッ
ん？
一体何の音――
ガラララッ

いいてっ
スコーーーン
ええっ!?
びくっ
シュウウウゥゥ
ヨロ。。。
藤村君大丈夫ですか!?
お、お気になさらず…
一体何が…
ひょこっ

あれ…
先輩?
投げた物を
見て?
えーと
これか…

カサッ
怖っ!!
OKです
あ、喜んでる
おおっ
逃げた
あ、誰かに気付かれた

な…
なんなんだ…
おー…
初めて来た
先輩――
ガラッ
離れにあって
普段誰も
使わないもんな

あれ、いない？
せんぱ――
こっちだよ
？

先輩！
やっ、やあ 久しぶり
ええ、お久しぶりです
えっと…今日は一体何を？
あっ、ああ 君に日頃のお礼ができればと思ってな
お礼？ いや僕は別に…
いや！是が非でも貰って欲しい！
そうですか？ じゃあ…

ありがとう！
では早速
服を脱いでくれ！
え
ギッ
んっ
ギッ
んっ
ど、どうだ
気持ちいいか？
ギッ
ハァ
ハァ
ギッ
あ、はい
とっても…
しかし…
ギッ

お礼っていうのはマッサージのことだったんですね
もみ
もみ
ああ、驚いたかい？
ええ…服を脱げと言われたときは驚きました
ぎゅっ
本当は他にも色々考えたんだけどねお金を払うとか…
いやっそれは流石に…
ぎゅっ
ぎゅっ
ぎゅっ
うん、流石にいかがわしい感じになるからやめた
ぎゅっ
やはりこういうのは健全でないとな

今も十分
いかがわしいと
思いますが…
グル
先輩がいつもより
更に可愛く見える！
きゅむっ
さっきから
何回も手が胸に
当たってるし
トロ〜
このアロマの
香りのせいか…？
ドッ
ドッ

藤村君背中も
やってくよー
あっはい！
どうぞ！
やっぱりマッサージに
してよかったー

ゴクリ…
なんかすっごい
興奮する…
先輩ちょっと
激しいです…
いや そもそも
藤村君が悪い!
こんな引き締まった
いい体して!
しかも
アロマと藤村君の
香りが混ざって
目にも毒だし
鼻にも毒だし
もう…
もぞ…
もぞ…

えっちすぎる…！
先輩？
あ、ごめん
も少し
優しくだな
ぐっ
…ん
ピク…
ぐぐっ
…
んっ
ピクッ

こっ声を出すなぁ～！
ギッ
どっどうだ？
ギッ
ギッ
…んっ気持ちいいです
ギッ
気持ちいいとか言うなぁ～！
今日はおれのためにやってるんだ！
チラ…
こ
このままではいかん…

またいつもの様に
暴走する訳には――
わき
わき
これは秘策を…
試すしかないな…
い、いくよー
とろ〜
どうぞー
ピクッ
そう、
これが秘策の――
ん…
全集中――!

ふっ
神経を研ぎ澄ませば
どうとでも…
ギッ
ギッ
ギッ
ん
…
は
ギッ
ふっ
ギシ
っ
余計
ズン…
えっちい!
くそう…
万策尽きたか…
せっ先輩!
その…かなり
際どい所ですが
これも…?
にぎ…

もっもちろんだ 鼠径部は特に疲れが溜まりやすいから入念にな！
あせっ
あっ、次は正面をするから仰向けになってくれ！
わ、わかりました
ズ
えーと正面は…
たしかー
すぐ実戦で意中の相手の
男性に喜ばれるマッ
vvvvvv,dhsuusfjsdjskkfmd/jssv
男性へのマッサージで喜
下半身は特に敏感なので女性も細
性も柔らかい部分を使って慎重

!!
あの…先輩
これ合ってます?
たじ…
む！失礼な！
ちゃんと調べたぞ！

男の人は こうやって
んっ
太ももに太ももを 擦り付けると 昂ぶって…
そっそりゃ 嬉しくない男は いないと 思いますが
本当か
君が 嬉しいなら
私も 嬉しい
ドキ

あ…
だめなのに…

はっ
はっ
あっ
腰…止まらな―
せっ先輩
息が荒いですけど
大丈夫ですか？
ギシ
ギシ
先輩？
ごめんねっ！
あっ
ビクッ
ごめっ

あっ!!
!!
くた……

だ…大丈夫…?
続きしようか…

第7話

まだ全然途中じゃないか!
どうせならちゃんと最後まで――
できることならそうしたいんだけど…
いやでも時間も時間ですし…
…わかった

次ので最後にする！
それならいいか？
え、ええ
キュポッ
それなら何とか――
ホッ・・・

ニヤッ
スゥ…
先輩!? 何を…
ガタッ
なっ 何って…

むぎゅっ
!!
いっぱい
触っとかないと
服が擦れて
痛いだろ?
いやっ
そういう
ことでなく…
今動いたぞっ
うわっ!

ギシ…
はぁ
はぁ
わ、私が動くから…
はっ
はぁ
…そうします
ぐっ
藤村君はじっとしてて…
よ、よしっ

ギシッ…
チ
チ、
チ、
チ、

これ…
もっと緊張するかと思ったけど
なんだかあったかくて落ち着くな
あ、でも藤村君だから落ち着くのかな？
今そんな顔されたら――
あ…

!!
せっ先輩!
わっ
ちょっと離れて…
あ、ああ…
どした?
?
えーとその…なんていうか…
ああ!そういうことか!ちょっと待ってて…
トロ…

!!
ぐいっ
先輩！
急に何を――
――って
水着？
ぬぎっ
ああ…

えと…もっと
脱いだほうが
よかった…？
流石に恥ずかしいんだけど
いえ！
大丈夫です
な、なら
よかった
ホッ
スル…
やっぱり
Tシャツのままじゃ
痛かったよな

ギシッ
あはは…
流石に恥ずかしいな…
んっ
ぬるっ

う…

藤村くん
今まともに見たら
完全に—
藤村くんっ
ピク
堪えろ——!!
藤村君!
むぅ…
返事がない…
辛そうな顔してるし…
プル
プル
ガマン!!
気持ちよくないのかな…

あ…
何か——
びくっ

クリッ
ちょっ！
先輩っ!?
くりっ
くりっ
くりっ
くりっ
そっ
そこはっ

きゅっ
・・・
うわっ!?
ふふふ…
くり くり
ちょっ
先パイ!
何だか楽しくなってきたぞーー!
くり くり
ストップ
ストップ!

ストップです
これマッサージ関係ないですよね？
いや気持ちよくなってもらいたくてつい…
あせっ
ムクッ
ん？
何か
あ…
ギュッ
お尻に——

ぷル
ぷル
い、いやっ！これは決してわざとではっ!!
バタ
バタ
わ、分かってますから落ち着いて…
あ
キーン
コーン
カーン
コーン
ふう

これで全部かな
ですね
結局片付けまで手伝って貰って申し訳ない…
いえ全然大丈夫です
ガラッ
それにその
結局あんな感じになっちゃって…
君へのお礼の筈だったのに…
ごめん…
しゅん
謝らなくていいですよ
パチ…

でもその…君のおちん…
それは今すぐ忘れてください
プルプル
プルプル
とにかくお礼の気持ちが嬉しかったですし
マッサージ自体は間違いなく気持ちよかったです
あ、でも今日みたいな連絡手段はやめてくださいね？
うぐっ！あれはそのっ！すまん…
電話番号伝えますから今度からそっちに…
…！うんっ！
ガラッ

あ！
どこ行ってたのー急にいなくなるからビックリしたじゃん！
いやーちょっと急用が・・・
てゆうかお昼一緒に食べる約束してたよね！
う、それはほんとすまん

今度絶対
埋め合わせするから
ほんとぉ?
最近、私の扱いが
ぞんざいな
気がするからなぁ…
むっ…
怪しい…
ん?
何かめっちゃ
いい匂いする
ザワ
ザワ
え

くん
汗かいたんで
家でシャワー
浴びてきたから
くん
そのせいかな…?
くん くん
スン…
ふーん
まあいいや…
今度埋め合わせに
パフェ奢ってよね!
キーンコーン
席つけー
分かった分かった…
じゃあ週末にでも
藤村くん

ふふ
あれ？部長 何かご機嫌ですね
え？ そ、そうかな
何かいいことでも あったんですか？
いやー…特に そういう訳では…
そうなんですか？ てっきり——

あれ?部長
今日すっごく
いい匂いですね!
それに
心なしか…
キラ
キラ
いつもより
ツヤツヤしてる…
美容液か何か
変えられたんですか?
えっ!?
ええっと…

さっき家に帰ってシャワー浴びてきたから…
はは…
そのせいかな？
えっ⁉ボディソープだけでその匂いですか⁉
ギクギク
う、うん
どこのメーカーですか⁉知りたいです‼
ふに。
えーっえーと…
ちょっと忘れたから今度教えるよ
やったっ！楽しみにしてます！
あれっ？
ぐっ

この匂い…
ホッ
どこかで――
あ
千里…
え、どういうこと？
2人して
同じ匂い…
しかも2人とも
家でシャワー
浴びたって…

2人でサボリ
+
同じ匂い
+
シャワー
=
チーン!
えっ
えええええええええええ!?

そりゃ2人の仲が怪しいなって少し疑ったりはしてたけど…
そんなことする仲にまで発展してたの!?
チラッ…
あの身体でさっきまで――
あんなことや
こんなことを――…?

やだ!
部長!
私、先に行きますね!
ガチャッ
うん
わかったー
やだやだ
やだやだやだ!
ど、どうしよう
千里に確認を——
で…
せんり!
でも——
あれ?
ピ

どした空
ドアの前で
変な顔して突っ立って
せっ
千里――!?

第8話

ん
ビクッ
ブルルル ルルル
ズイッ
何だ僕に用事あったのか?
いっいやっ その一…
ポ
アッ
あっ!?
バッ

ああ!!
カラン
カラン
カラン
ちょっ
まっーー

ピターン
ぎゃ!?
だ…大丈夫か?
うう…大丈夫じゃない…
あ、でも携帯は無事みたい…

よかっ
そらちゃーん？
ぶ、部長…
サーッ…
凄い声したけど…
大丈夫――
キイ

うわあああああああああああ!
…えー
ぎゃ!?
えーっと…
ごめんなさいごめんなさいごめんなさいごめんなさい
いたい…

誰かいるのか?
誰もいない!
いや…でも…
いないの!!
それよりも千里への用事!
付き合って!! 買い物! 今週末!
昼のお詫びに!
ぐい
ぐい
いやまあ… それは全然いいけど…
ほんと?
…

っ…
ズル
付き合う…
2人が…?
そんな…

ただいま
ガチャ
あ、おかえりー
もう少しでご飯できるからー
今日はいい
え…薫がご飯食べないなんて…
槍でも降るのかな…

う
うう
ううう…

何も今日じゃなくてもいいじゃないかー！
ちょっと仲良くなれたと思ったのにーー！

私より――
仲良し…
あ♡
う…
ぞっ
も

ビクッ
ん…
クチュ…
んっ
クチュ…
クチュ…
もうっ
藤村君の
ばかっ
ビクッ
ビクッ
ばかっ
びくっ
空ちゃんも…
…もうっ
ブルッ
ブルッ
びくっ

もうっ
ビクッ
もうっ！
うっ
ううっ…
フル
フル
うえええええ
ええええん
…ふう
年甲斐もなく
ボロ泣きしてしまった

よくよく考えたら
空ちゃんが
「付き合って」って
言ってただけだしな…
ぷく…
てゆうか普通
あんなタイミングで
告白なんてしないよな？
きっと何かの
勘違いに違いない！
よ、よしっ
藤村くん
ブルルル

ん
こんな時間に電話か？
いや LINE○
あー…
日曜か…
日曜は空に
10時から15時は絶対空けといてよ！
って言われてるからなぁ…
女？
女か？
女だな？
よし…
こんばんは
15時半頃からなら大丈夫ですよ！

それにしても… 先輩と外出か…
ちょっと前じゃ 考えられなかったな
女だー！ フラッてした!!
おのれ ウチの弟を… どこのビッチが…
あ 空からも
ブルルッ
空!? 空っていうのか!? そのビッチ！
お姉ちゃんは 異性不純交際は 認めんぞ!!
ビッチでもないし 交際もしてないわ！
やましいことは 何もないから！ おやすみ！
バタン
あっ おい！

空…
空だな…
しかと見たぞ…「日曜10時に駅前公園集合」…
そこがお前の墓場となる…
…
ふふふ…
びくっ
行くなよ?
お前それはマジで無粋だぞ
行くなよ?
何をバカな…行くわけないだろ?
ははは

ドン
お前…結局思いっきり来てるじゃん…
なんだよ…姉ちゃんだって来てんだろ…
私はあんたを見張りに…
しぃっ！奴がくるぞ！
ざわ
ざわ
千里ーー！

お待たせーー！
おう、めっちゃ待たされたぞ
えっ！うそっ!?
ガーン
ふふっ冗談だよ
何それ！めっちゃムカつくーー！
んじゃ行くか
そ、その前に何か言うことがあるんじゃない？
どや。
ん？

ドキ ドキ
ん－
ドキ ドキ
そうだな…
ドキ ドキ
よく似合ってて かわいいぞ
パ
!
んもー！ 可愛すぎて 見惚れたとか 褒めすぎーー！
バーー
痛いわ。
そこまで 言ってない
…っといけない あくまで今日の目的は 部長との 関係を探ることだった
でも… 2人が 付き合ってたら 私とのお出かけ OKしないよね？
?

だったら――
ギュ
ッ
ちょっとぐらい
はじゃいでも
いいかな？
いこっ！
おいっ
離れろっ
…
…
えー！
いいじゃん
これくらい！

ガッ
よしやるか
あの女
早いっつの！
ええい離せ！
あの女はもう
十分な罪を重ねた
そもそも何も
悪いことして
ないから！
あっ
あのっ
うおおお
お？
聞こえねーよ！
!!
ちーちゃん
ああ…

あの娘…
凄く怯えてる…？
数分前
ふう…

流石に
ヤバー♥
カッコイー♡
5時間前は早く来すぎたな
まあどうせ家にいても
あのことが気になって落ち着かなかったし
フラペチーノ一つ下さい
ウィーン
こうやって気分も紛らわせるしいっか…
ハア…
ズズ

たまには
1人で
ぶらぶら
服でも
みてみるか

ギギギ…
見間違い——
じゃない！藤村君と空ちゃん!?
あんなお酒落してどうみても——
あっ！
追い——
あっ!?

あーあ…
買ったばっかなのに汚れちまったよ

そして現在
んで…
どうすんだ？これ…
ズイッ
あの…えっと・
クッ…クリッ？クリーニング代
ああ!?
よく聞こえねぇ！もっと大きい声で…
おい

その娘
怖がってんだろ
ザッ
離れろ
お？

第9話
Restaurant
いやぁ…
助けて頂いて
本当にありがとうございました
いや、助けたっていうか…
私らなんもしてないしな…

おい
その娘
嫌がってんだろ
離れろ

コキッ
コキッ
え、いや俺らはそんなつもりは…
ふん…しらじらしい
大の男三人で女の子泣かせて
まったく説得力がないぜ
う…
まぁどうしても認めないって言うなら…
ザワッ
力づくでも――
パキッ
ぷら…

やべぇ…折れたかも…
ガク
ガク
ガク
弱っ！
ふ、ふん！少しはやるようだな…
たじっ…
だが私を倒したくらいでいい気にならないことだ…
ククク…
もはやどっちが悪役なのか…

こっちの藤村家が長女「まちる」が必ず仇を取ヴッ！
もうあんた黙ってなさい
で
実際の所どうなの？
本当に見た通りなら
出るとこ出なきゃいけなくなるけど？
…
実は…

まさか薫ちゃんの声が小さ過ぎて聞き取れてないだけだったとはね…
しょぼ…。
面目ないです…
い、いや責めてるわけじゃないんだよ？
いえ…むしろ責められるべきなので…
あせっ
なんであんなにビビってたんだ？
飯食って
腹から声出せよ！
あの人顔は怖いけどめちゃくちゃ良い人だったぜ？
ホント顔は怖いけど
でもさぁ

そ…
それは…
ぎゅっ…
もちろん無理には聞かないけど
…
いえ
話します
お二人はとても良い方だと思いますので…
ただ
一応他言無用でお願いします

私は
!
!
男性があまり得意ではないんです
いつも男性を前にすると
体調が悪くなってしまって…
ですので今日は本当に助かりました
ぺこっ
改めてありがとうございます
ふふっ
初対面の方に話したのは初めてです
お二人とは他人の感じがしないと言うか…
何かすごく落ち着く香りがします

え
そ、そんな匂うかな？
ほう
くさい？
お前
……
なかなか話が分かる奴だな
嗅いでみろ
え
ビクッ
じゃあ少しだけ…
スー
!!

すごく良い匂いが…!!
フフフ 分かるか…
ドキ
ドキ
そう！
こいつは
我が愛しの弟の部屋に
毎晩忍び込み
この服をクローゼットに
忍ばせる！
そして朝方
バレる前に撤去！
これを来る日も来る日も
繰り返すことにより
香りを染み込ませた逸品！
言うなれば愛弟の
分身とも呼べる
代物なのだ！

ちーちゃん…
あんたいつの間に
そんなことしてたの
引くわ…
ん？
5歳から
続けてるから
もう14年目だな
その頃から
もう手遅れに
姉の常識だろ
あはは…
どこの世界の常識よ
ご姉弟
仲が良くて
少し
羨ましいです
私にも
兄か弟がいれば
少しは状況も
違ったのかな
なんて…
よし、
わかった

私と弟との愛溢れるヒストリーを聞かせてあげることで
少しでも兄弟がいる気分を味わわせてやろう!!
ええ…?
あれは17年前の雪が降る日のこと、自宅で待機していた私たちの元に一本の電話が入った声の主は勿論担当医だはやる気持ちを抑えつつ私と姉は父がハンドルを握る車に乗り込んだ1キロまた1キロと病院に近づく度に心臓の鼓動の音が大きくなっていく様は今でも鮮明に
無視していいよ
は、はい…
ていうか…
無理にお礼しなくていいよ? 顔色悪いしまだ体調悪いんでしょ?
いえ! ほんとにいつもよ
あっ!!
ガタッ

な、何
大声出して…
フル
そ、そういえば…
フル
空とか言うビッチから
千里を守るため
後をつけてる
最中だった!!
ん…
空…？
千里…？
またな！
薫！
あっちょっ
ウィーン
匂いのことも含め
この二人…
こうしちゃおれん!!
バ
サッ

あ
げ
?

成程…
それで先輩は二人と…
う、うん
おい、そんなことより本題に移るぞ
えー
それでは
裁判を始めます
ちょっちょっと！
なんなんですかこれ!!
誰を裁くの!?
こら被告人、私語は謹みなさい
私っ!?

えー、では
ビッチ改め
空被告人
ビッチでもないし
被告でもない!!
質問です
ハア
ハア
あなたは
うちの弟と交際を
しているのですか?
えっ!?
ええーっと…
いきなり
核心に——!
どっ
どうなんだ——?
交際は
してません!

い、1番仲の良い
男友達では
ありますけど！
成程…
交際はしていないが
あわよくばを狙い
逢引をした…と
人聞きが悪い！
い、いや
それは僕が
シャラップ
ブラザー!!
NO!!
このビッチに
唆されている
可能性があるので
発言を許可しませ
人聞きが悪い!!
良かった…
付き合ってなかった…
あれ…

安心したら
ドッ
ドッ
ドッ
何かー

ギュッ
!?

ん、どした
いや、なんでも
急にどうしたんですか
ごめん…さっきの発作がぶり返して…
ヒソ
ヒソ
藤村君に触れたら治るかなって…
そういうことですか…
う、うん…ダメかな…？
ヒソ
いいですけどバレないようにしてくださいね
…
わ、わかった頑張ってみる
ヒソ
それじゃ…
あっ
さっ
ゆっ

これで
どうですか
う、うん
いい感じかも…
じゃあしばらく
このままで…
あ、
ありがとう…
あ
くるっ
でも…
あ
あの…

もう少し
強くして…?
ドキッ
いやいや！流石に…
頑張って声抑えるから…
それでも…
えーっ!? マジですか!!
――っ
わ、わかりました じゃあ…

ん
あー…
力…つよい…
ぎゅっ
ぎゅっ
ふくふくあったかくて
安心するけど
時折来る痛さが
少し気持ち良くて
藤村君の
匂いも近くで…
凄くドキドキする…

もっと触れたいな…
きゅっ
でも流石にこれ以上は…
ぴと
あ
足…
足
足なら…

ズ
!
ピクッ
…
…
ス…
ぬぎっ

ピト
!
はぁっ
ぎゅっ

ギュッ
ギュッ
びくっ
…
じっ

!!
大丈夫ですか
うっうん
平気
…

千里
ビクッ
薫ちゃん
!
また体調悪くなってるみたい
一人じゃ危ないし
お化粧室までついてってあげなさい
うえっ!? ほんとだ! 大丈夫ですか!? 部長!
あ、う、うん
いやでもそれじゃ空が一人姉ちゃん達と…

それなら大丈夫！もうこいつとはマブダチだからな！
千里の話で意気投合して
千里！お姉さんめっちゃいい人だね！
あ そう？。
ありがとう
もう大丈夫
…
ここなら
もうちょっと…
え
ぐい

さっき
君から触ってくれたし…
ギュッ

あの続きを…
ちょっとだけ…
…
あっ
グッ
ビクッ

我慢できますか
あっ
トキ
ハあっ

ツプププ。。。
あっ
ツプ…
あっ!
クリッ
あ
あ
あ
クリッ
ピクッ
あれー?
お手洗い
こっちかな?

だっ
誰かきた!?
先輩っ
こっちに…
あ、良かった
いっこ空いてる
パタン
ちょっと
ドリンク
飲み過ぎちゃった
かなー

ギリギリセーフ～

第10話
ギリギリセーフ～
ドキ
ドキ

ま…
ガク
まずい…
い…今
ブルッ
こんな狭いトコで
藤村君の匂いを
一気に嗅いだら――

がっ
我慢ができなく――
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
先輩？
ハッ
先輩は後から――
グイッ
僕は今の内に戻っておきます
ガラッ

ま、待って…
ど
どうしたんですか？急がないと…
…
さっきの続きして欲しい…
ええっ！さっきのって…いや流石に――

ウル…。。。
はぁ
だめ…？
ハッ
ハァ
ドキッ
!!っ
と
特訓であれば
特訓であれば パートナーとして やります

…
特訓
そうだ
これは特訓だから…
パートナーとしてお願いしてもいいかな
…は、はいパートナーとして…
それじゃあ準備するから少しあっちを―
藤村君
もういいよ…
は、はい

ドキ
ドキ
顔見られるの恥ずかしいから…後ろ向きでいいかな…
ド
キ、、
…!はい
ドキ
それじゃいきます
ドキ
スッ…
う、うん

あっ!!

ビクッ
先輩…！
もう少し声
抑えられませんか？
そっそんなこと
言ったって…！
ビクッ
むっ
むりっ…
…！
ズリ
!!
こ、声
出そうになったら
これ噛んでください
っあっ
ありがとうっ…
!?

んんっ
ん、
あ、
あ
チュクッ
チュクッ
んっ
んぷっ
はぁ
はぁ
がく
がくり
ポタッ
がくり

だ、大丈夫ですか…？
はぁ
う、うんっ大丈夫だから…
フル
フル
はぁ
はっ
心配せずっ…続け…
クリッ
ひあっ…

ガタッ
あっ
すみません！
藤村君ちょっと止まって
は、はい
使用中だったんですね
この声…
間違えちゃいました〜

空…ちゃん？
えっ？この声…部長ですか？
あれっ？てっきり千里と居るもんだと…
あっああ藤村君は今電話で席を外してて…
はぁ
はぁ
…っ
藤村君の手が
え、そうなんですか
一番気持ちいい所で止まって—
じわ…

もどかしい…
ブル
はぁ
ブル
はぁ
はぁ
ブル
千里のやつ
それはちょっと
薄情ですねー
ガタ
ガタ
もどかしいよう…
そんっ…
なことないよ…
どうしても
外せない用みたい
だったから…
我慢しなきゃ――

せめて空ちゃんが
帰るまでは——
ガタ
ガタ
——っ!
フル
フル
いえ!
それでもです!
やっぱり
少し体勢を——
モゾ…
ぐりっ

ひあっ!?
ビクッ
ぶ、部長!? どうしたんですか!?
だ、大丈夫ですか!?
う、うん…
はぁ
はぁ
うあ… 今ので…
完全に…

はぁ
ん
絶対ダメなのに——!!
あっ
はぁ
だっ大丈夫
ズリッ
スリ〜
あっ
はぁ
はっ
ビクッ
んっ
ちょっとっ床が滑ってて
腰動かすの…気持ちよくてっ
スリ‥

びっくりっしたただけっ……！
あっ
あっ
はぁ
先輩っ!?
我慢できないっ――
んっ
何やってるんですか先輩！本気でバレますよ！
そんな近づいたら匂いで余計に――！

はっ離れて藤村君
うわっ急に動かないで—
ズル…
つぷっ

ーーっ!!
ーー
ガク
ガク

ビクッ
あっ!?
はぁ
はぁ
えーーっと…
へたっ。。。
実は…私もそろそろ限界で…
まだお時間かかりそうですか?
そ、そう…だね…
もじ
もじ
わ、分かりました!近くのコンビニに行ってきますー!
はぁ
はぁ
はぁ

行きましたね…
うん…
ジロ…
さて…先輩
言いたいことは分かっていますね？
う…
バレたらどうするんですか！
ハァ…
今回は本気で危なかったですよ…
はい…
それに
しゅん…

先輩は可愛いんですから
あんな姿見せられたらいつ我慢できなくなるか…
え…
とにかく!
僕だっていつもギリギリなんです!
ガラッ
今後は絶対に事前に連絡をくださいね
今日はもう体調が悪化して帰ったことにしておきます
先輩はこっそり抜け出しといてください
う、うんわかった…
結局

藤村君が事情を説明してくれて
うまくごまかせたらしい
迷惑をかけたお姉さん方には
電話で改めてお詫びをした
ぺこ
ぺこ
空ちゃんにもお詫びをしないといけないいな…
とほほ…
そして数日後

やめ！
ハァ…
クシャ
集合ーー！！
ハァ
ハァ
薫
ス…
後で教官室に来い
理由は分かるな
…はい

体育教官室
失礼します
ギシ…
…来たか
さて…
ジロ…
呼び出した理由だが
最近のお前は
ぎくっ…
ちょっと酷すぎる！
ただ弱いだけならまだしも
注意力散漫で転んだりする始末…

例の件で大変なのは分かるが…
このままでは流石にまずいだろう
しゅん。。。
はい…
はあ。。。
今のままでは
全国どころか地方の3回戦が関の山だろう
そ、それは困ります!
そうだ! 私も困る!
びしっ
だからまずお前は集中力を戻せ!
!
恐怖症の件は私が色々調べとく
まずお前は元の精神状態に戻ることを考えろ!
良いな!
は、はい

カタ カタ
カタ カタ
…と
言われたものの…
カタ カタ カタ カタ カタ カタ カタ
一杯ありすぎて
クシャ…
ゴロン
どれを試せばいいのか
というか集中できない原因って…
先輩は可愛いんですから
いつ我慢できなくなるか…
うーん…だとしたらまた話が…
ん

これは…
ノーパンで集中力UP、
剣道家の常識？
現在では下着を着用するのが一般的になっていますが、本来剣道家は下着を着用しません。衛生面や古からの伝統を守る為もありますが、布への摩擦を減らすことにより集中力UPも望めます。騙されたと思って一度試してみてはいかがでしょうか？
うーん…
聞いたことはあったけどこれは…
…
今は藁にでも縋りたい気持ちだし…
明日…試してみるか！

でも
本当に皆
やってんのかなぁ
一応
調べてみるか…
ポチ
ポチ
ブルルッ
うわっ!?
お次女姉さん
お…
お次女さんから!?
はい
薫です
ピッ
おう
夜遅く悪いな

ちょっと今から
外出られるか？
お前に渡したい
物があるんだが…

橘さんは嗅ぐわしい
単行本版　第2巻

著者：肉丸

©肉丸/ビーグリー 2020

この物語はフィクションです。
実在の人物・地名・団体・事件等とは一切関係ありません。